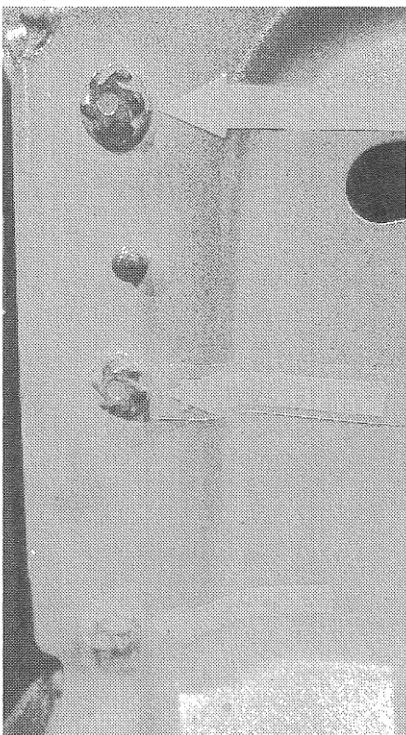


## 美和工販

# 独メー カーねじ、販売強化

## 自動車の軽量化に貢献



フローフォームは異素材の接合に優れる

自動車用ねじの開発・販売を手掛ける美和工販（本社みよし市福田町権現山29の60、近藤忠文社長、電話0561・321・2811）は、欧米自動車メーカーが採用する独アーノルド社のねじ「フローフォーム」の販売を強化する。フローフォームは異なる金属の接合に優れ、電気自動車などで求められるボディーの軽量化に貢献する。グループ会社の新城製作所（本社大阪府）が2021年春に国内製造するのを機に、国内自動車メーカー・大手サプライヤーからの採用を狙う。

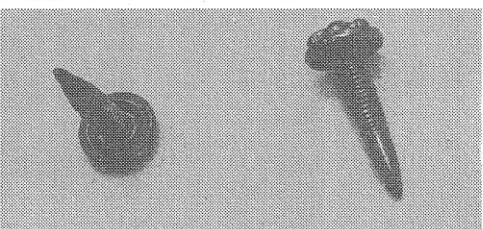
美和工販は18年からフローフォームを輸入販売してきましたが、昨年秋、同じ新城国内の製造と販売のライセンスに発注し、国内ユーザーへ

（横山卓司）

に安定供給ができる設備を整えた。美和工販は販売部門を担い、まずはフローフォームの国内製造をアピールしていく。

欧洲をはじめ、米国や中国の自動車メーカーで、鉄とアルミダイカストなど異素材を接合した軽量化ボディーが主流になってきている。フローフォームの片側からの「穴加工・雌ねじ転造形・ねじ込み」プロセスによる接合技術が寄与しているという。

具体的には、押し込み荷

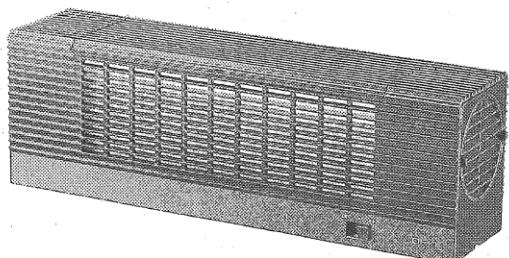


独アーノルド社のねじ  
「フローフォーム」

重と高回転の組み合わせで、金属板を加熱して穴を形成、雌ねじを転造。ねじ込みの後、制御されたトルクで締め付けるまでを一回の工程で行う。異素材を接合する「マルチマテリアル化」は自動車

の強度や軽量化を図るために重要なだが、接合部の強度を保つことが求められる。担当者は「もともと品質に自信を持っていたが、今後はグループ一丸となって販売に力を入れていく」と話している。

## ブラザー、小型清浄機開発 カラオケでの飛沫吸引



小型空気清浄機「DF-1」

## 貸出金25%増、

三菱UFJ銀

三菱UFJ銀行（本社名古屋市）は、小型空気清浄機

など、2020年9月末の東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）の貸出金残高が前年同月末比25・4%増の9兆2300億円だったと発表した。

内訳は国内が31・4%増の7兆2500億円。大企